

令和5年度協議会事業案（個表）

国補助金活用（文化庁／65%）（R5年度観光拠点整備事業）

事業名	日本遺産相互連携事業「炭鉄港」ガイド付きミニツアー整備事業
要望額（案）	700千円（うち文化庁補助金：455千円、自己負担分245千円）
<p>【目的】 令和4年度に実施した同事業の検証の結果を踏まえたコンテンツ満足度の向上 自治体InstagramやFacebook等で募集や実施結果を発信するなど、SNSを活用した炭鉄港の認知度向上 一部ツアーをインバウンド受け入れを想定したものとし、ニーズ調査を行う</p> <p>【事業内容】 日本遺産「炭鉄港」の構成文化財やその周辺の文化を体験できるガイド付きのミニツアーを造成するとともに、ガイド向けの講習会を実施し、継続して実施可能な滞在コンテンツの整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に構築した6件のガイド付きミニツアーの継続 ・未実施地域でのツアーの構築 ・SNS（自治体InstagramやFacebook等）を活用したツアー募集、実施後の情報発信 ・インバウンド受け入れを想定したニーズ調査（一部ツアー） 	
事業名	炭鉄港食文化・構成文化財スタンプラリー整備事業
要望額（案）	1,300千円（うち文化庁補助金：845千円、自己負担分455千円）
<p>【目的】 炭鉄港地域の食文化「炭鉄港めし」を切り口に炭鉄港の歴史に触れる滞在コンテンツを整備するため、構成文化財及び炭鉄港めしを巡るオンラインスタンプラリーを構築。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉄港の構成文化財及び「炭鉄港めし」を提供する店舗を巡るオンラインスタンプラリーの構築 ・提供店舗拡大のための働きかけ ・スタンプラリー実施による地域への経済効果、ランニングコストについて検証の検証 ・地域のブランドとして確立するとともに、観光客の広域的な周遊及び消費の促進 ・自治体InstagramやFacebook等SNSでの提供店舗の情報発信 	

国補助金活用（観光庁／5,000千円補助、1,000千円自己負担）

（インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業）

事業名	誘客多角化のためのコンテンツ整備事業
要望額（案）	6,000千円（うち観光庁補助金5,000千円、自己負担分1,000千円）
<p>【目的】 炭鉄港地域を訪れるすべての人が国籍、言語にかかわらず炭鉄港の魅力を理解できる環境の整備</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉄港関連施設のかつての姿を復元するARコンテンツの制作 ・ARと連動した多言語解説コンテンツ ・ポータルサイトのメイン画面、構成文化財の英語対応化 ・多言語対応のガイド養成講座 	

国補助金活用（文化庁／100%）※文化庁委託事業（日本遺産魅力増進事業）

事業名	日本遺産相互連携事業
要望額（案）	3,000千円
<p>【目 的】 令和3、4年度に実施した日本遺産相互連携事業で相互パネル展示を実施した、日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」の兵庫県朝来市との連携を継続するとともに、観光客の相互誘客につながる取り組みを検討、実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携先の日本遺産との相互交流フォーラム ・連携先の日本遺産を意識したツアーの造成 	
事業名	炭鉄港めし普及啓発事業
要望額（案）	5,000千円
<p>【目 的】 炭鉄港地域の食文化「炭鉄港めし」のさらなる認知度向上を目的とした、炭鉄港めしイベントの開催。炭鉄港めしを入り口とした、炭鉄港文化の認知度向上。炭鉄港ファンの新規獲得。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉄港地域で開催されるでの炭鉄港めしブース開設 ・出店店舗の呼びかけ、出店の補助 	
事業名	炭鉄港ガイド活用整備事業
要望額（案）	7,000千円
<p>【目 的】 炭鉄港ガイドの活用を促進するため、炭鉄港ガイドの資格や能力、希望を把握し、ガイドの分類、整理を行う。各地の専門的ガイドへ話をつなぐ、炭鉄港全体の流れや、知識をもつ、スルーガイドの育成をする。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炭鉄港ガイドの再編、整理、活用を前提としたシステム構築 ・スルーガイド育成講座 	

協議会単独事業

事業名	炭鉄港カードキャンペーン事業
要望額（案）	250千円
<p>【目 的】</p> <p>構成文化財や関連施設が見学可能な期間に限定して、炭鉄港カードの第3弾を配布し、炭鉄港地域の周遊促進効果を高める。昔の施設や風景の写真を題材としたものを想定。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプリート者等を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催。 ・第1弾、第2弾のレプリカカードの検討。 	
事業名	日本遺産相互連携事業
要望額（案）	500千円
<p>【目 的】</p> <p>関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産連盟負担金、日本遺産サミットへの参加費用（旅費は原則参加を希望する市町で支出） ・道内の日本遺産やテーマが共通する産業遺産（銀の馬車道等）との相互の情報発信や、視察の実施 	
事業名	予備費
要望額（案）	250千円